

2020年2月20日

保護者の皆さま
生徒のみなさん

清教学園中・高等学校
校長 森野章二

新型コロナウイルス感染症への対応について [第二版]

立春の候、保護者の皆さまにおかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、学園の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、2月6日に「新型コロナウイルス感染症への対応について」を配布致しましたが、状況がさらに深刻となり、文部科学省も含めさまざまな行政機関より連絡が届きましたので、[第二版]としてお知らせし、改めてご理解とご協力をお願い致します。

各家庭で以下の対応をお願い致します。

- ・ご家庭にて毎朝登校前に検温をお願いします。37.5℃以上の発熱等の風邪の症状が見られる場合には、登校を控えていただきますようお願い致します。熱が下がらない場合には速やかに医療機関での受診をお願い致します。
- ・登校後に体温が37.5℃未満の場合でも、症状によっては下校・自宅療養にさせていただく場合があります。帰宅後も熱が下がらない場合や症状が改善されない場合には速やかに医療機関での受診をお願い致します。
- ・手洗い、咳エチケット、規則正しい生活はもちろんのこと、休日等も人混みを避けるなど基本的な感染症対策をお願い致します。

【厚生労働省啓発資料（2020.2.17）より一部抜粋】

◆新型コロナウイルス感染症とは

ウイルス性の風邪の一種です。発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。感染から発症までの潜伏期間は1日から12.5日（多くは5日から6日）といわれています。

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染によりうつるといわれています。

飛沫感染：感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

接触感染：感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。

重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意しましょう。特にご高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます。

◆日常生活で気をつけること

まずは手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。持病がある方、ご高齢の方は、できるだけ人混みの多い場所を避けるなど、より一層注意してください。発熱等の風邪の症状が見られるときは、学校や会社を休んでください。発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。

(参考情報)

○関連情報ホームページ

- ・新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について（文部科学省ホームページ）
https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html
- ・新型コロナウイルス感染症対策の対応について（内閣官房ホームページ）
http://www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html
- ・新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省ホームページ）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- ・海外安全ホームページ（外務省ホームページ）
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsपोthazardinfo_009.html#ad-image-0
- ・学校において予防すべき感染症の解説（日本学校保健会ホームページ）
<https://www.gakkohoken.jp/books/archives/211>